



ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長

安原 稔 二

Teiji Yasuhara

今の日本の景況感は表層的なものかもしれませんが、本質を見極めて体制を整えることが大切です。

当社を取り巻く国内外の経済は、原油安や円安など、あいかわらず不安定な状態が続いています。

しかし今回の原油安の要因を詳しくみると、実体経済とはかけはなれた金融市場の思惑と、中国経済減速による下押し圧力が強まったことの影響が大きいと捉えています。

こうした原油安や円安は、一時的には日本経済に好影響を与えていますが、このまま原油安が続きすぎるのはよくないと考えています。原油安が続くと世界経済そのものの減速に繋がりがかねません。一方、株価は上昇し、表層的には好景気に見えますが、日本経済の実態を反映した動きでもありません。その本質を見誤らないようにしておくことが大切です。

ヤスハラケミカルは、今期おかげさまで増収増益を達成しましたが、原油安や円安の影響によりお取引先様の業績が好調なことも、その要因のひとつと捉えています。しかし今後の日本経済を展望すると、内需の成長見込みや消費動向

において、厳しい状況が続くことが予想されます。

こうした状況を冷静にみつめ、より厳しい状況になっても収益性を確保できる強い体制を整えておくことが重要だと考えています。

地球規模で必要とされていくものを見極め、グローバル展開を進めていきます。

今後の日本経済は、生産年齢人口の減少から内需の伸びは期待できず、国家財政状況により消費税増税も予想されることから、かつてのような経済成長を遂げるシナリオは描けません。このことを、しっかりと認識すべきです。

国内の需要が縮小する中で収益が確保できる体制を整えるために、今後はグローバル戦略がますます重要になります。それは単に新興国などのお取引先様を増やすという意味ではなく、お取引先様の2次3次の輸出状況を含め、今後地球規模で何が売れていくのかをしっかりと見極め、それに対応する製品を提供していくということです。

わたしたちを取り巻く環境を正しく認識し、利益を生み出せる体制を整えていきます。

その中で、中国経済の状況は、注視していく必要があると考えています。それは、中国は市場規模が大きく、多くの日本の企業にとっても影響力が高いことから、その動向に注視していく必要があるということです。

グローバル展開を進める上で最も大切なことは、今世界で起きていることや相手国の本質をしっかりと見ていくことだと私は思っています。テレビや新聞で伝えられる情報は、表層的な事柄にすぎません。その国の本質を知るには、近代史を学ぶことが必要です。中国にせよイスラム社会にせよ、現在の国家としての枠組みができたのは、この50年～100年の間のことです。その国の近代史を学び文化や社会の背景、すなわち過去を知っておくことで、その国の今や、人々が求めるものの本質が正しく見えてくるはずですよ。

既存のものをより強くするための投資だけでなく、未来に向けての投資も、より積極的に行います。

収益力を強くする上では、グローバル展開を促進するとともに、時代や社会の変化を的確に読み取り、自らの収益構造を進化させていくことも重要です。日本に、またいつか昔のような成長期が訪れるという淡い期待を抱いている人もいられるかもしれませんが、将来はより厳しい時代になるのではないかと私は認識しています。

それは今売れているものが、将来もまた同じように売れ続けるかどうかはわからないからで、淡い期待で今売れているものだけに投資を続けたのでは成長はありません。次の時代に売れそうなもの、より収益をあげられそうなものを探して先に投資していかないと、企業にとっての成長がないと思うからです。

これまで既存のものをより強くするための生産設備投資を続けてきましたが、これからはより積極的に未来へ向け

ての投資も行うつもりです。

またそれに伴い、既存生産設備の安全性の向上とともに、品質管理や環境性能の向上も同時に進めていきます^{※1}。

分野・用途の開拓を加速化させるため、「人のチカラ」をさらに高めていきます。

かつての日本は、先進国の製品をより高性能にすることで成長ができました。しかし、今は、新興国に追いつかれてフォロワーとの違いを出すことができなくなっています。

これからは、ソフトとハードの両面で差別化を図っていくことが必要で、そのためには「人のチカラ」を伸ばしていくことが不可欠と考えています。

そのためヤスハラケミカルでは、すでに数年前から「人のチカラ」を最大限伸ばせるよう、教育体制と職場環境の整備を進めています^{※2}。

人材の確保が厳しい状況の中、組織を強くしていくには、女性の活躍推進もその一部となってきます。女性がかかり社会進出している時代に、女性が活躍できる職場を整備することも必要となってくるでしょう。

これからの日本にかつてのような成長を望むことは、極めて難しいと思います。そのことを憂うのではなく、危機感を持った上で、生き残るための準備をすることが大切です。社員には、過去を知り、今を知ること、わたしたちがいる府中市を知り、世界を知ること、そして、興味のあるところを深掘していくことを望んでいます。ヤスハラケミカルは時代に沿った成長を描き、利益を生み出せる体制を整えていきます。

※1 詳細はP7からの特集②「工場の取り組み」をご参照ください。

※2 詳細はP5からの特集①「働きやすい・働きがいのある職場づくり」をご参照ください。